

令和2年度「命の大切さを学ぶ教室」の開催校を募集！！

～ 次世代を担う中学生・高校生等を対象にした被害者遺族の講演 ～



1 開催目的

- 被害者遺族が直接生徒に語りかけることで、
- 被害者が犯罪等から受けた様々な痛み、家族の絆、命の大切さ、被害者も加害者も出さない社会を望む被害者の思い等への理解を求める。
 - 被害者への配慮や被害者支援に協力する意識を涵養する。
 - 規範意識の向上を図る。

2 教室の概要

- ① 実施時間…1時限(約50分)程度
- ② 実施内容
 - ◇ 犯罪被害者遺族等による講演
 - ◇ 公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター職員による講話
 - ◇ アンケートの実施

3 開催状況(過去5年)

- ◇27年度…16回(大学3校、高校5校、中学等8校)
- ◇28年度…10回(大学2校、高校3校、中学5校)
- ◇29年度…12回(大学1校、高校7校、中学4校)
- ◇30年度…12回(大学1校、高校8校、中学3校)
- ◇R1年度…12回(大学1校、高校4校、中学7校)

4 令和元年度のアンケート集計結果

- (R2.1月末現在 回答者:2464人)
- ◇「被害者や遺族の人たちは大変な思いをしていると思った」 99.4%
 - ◇「事件や事故を起こしてはならないと思った」 98.7%
 - ◇「命を大切にしなければならないと思った」 99.1%
 - ◇「犯罪の被害に遭った人たちの支援は必要だと思った」 97.5%
- 【アンケート自由感想】
- 自分の命や他人の命を大切に、家族や友人をもっと大事にしようと思った。
 - 生きていること、大切な人がいることに感謝し、今を精一杯生きなければいけないと思った。
 - 被害者を増やさないために事件や事故を起こしてはいけないと思った。

5 令和2年度開催校の募集について

三重県警察では、公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センターとの共催で、「命の大切さを学ぶ教室」を実施するため、開催校を募集します。

命の大切さを学ぶ教室は、生徒たちに

- ◇「社会のルールを守っていたら助かる命があること」
 - ◇「自分の命も他人の命も大切にすることの重要性」を理解していただける良い機会です。
- 開催についてのお問い合わせなど、まずは被害者支援室までご連絡ください。



6 主な講師の紹介

- 交通事故被害者遺族
 - ・「いのちの言葉プロジェクト」代表
 - ・公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター顧問【プロフィール】

平成9年に、当時高校2年生の息子さんを、帰宅途中の横断歩道で交通事故で亡くされたことをきっかけに、自ら命の大切さを訴える「いのちの言葉プロジェクト」を主催し、県内の大学生と共に人形劇を上演するなどの啓発活動を行っている。
- 交通事故被害者遺族
 - ・自助グループ「あいち交通犯罪ゼロの会」代表
 - ・心理カウンセラー【プロフィール】

平成17年に、当時中学1年生の娘さんが部活動の応援のために外出し、信号待ちをしていた際に交通事故に巻き込まれ死亡したことをきっかけに「あいち交通犯罪ゼロの会」を立ち上げ、二度と悲しみを増やさないようにと講演活動等を行っている。
- 少年事件被害者遺族
 - ・「少年犯罪被害当事者の会」代表【プロフィール】

平成8年11月、当時高校1年生だった長男を文化祭にきた他校の生徒の集団暴力により亡くす。

平成9年に同じような境遇の家族と共に「少年犯罪被害当事者の会」を結成し、被害者にも加害者にもしない社会づくりを目的に、活動を行っている。

7 令和2年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール 応募作品の募集

「命の大切さを学ぶ教室」を受講、若しくは、命の大切さに関する多様な機会(非行防止教室等)に命の大切さを考え又は体験等をした全国の中学生又は高校生を対象に、警察庁主催の全国作文コンクールに応募する作文を募集します。

応募される場合は、三重県警察本部又は学校所在地を管轄する警察署に郵送等で提出してください。三重県警察本部から同コンクールに応募します。

今年度は、**令和2年6月中旬頃**が応募締め切り予定です。



【担当】

〒514-8514
三重県津市栄町1丁目100番地
三重県警察本部警務部広聴広報課被害者支援室
☎ 059-222-0110(内線2923、2924)

(共催)

〒514-0004
三重県津市栄町1丁目891番地
公益社団法人
みえ犯罪被害者総合支援センター
☎ 059-213-8211



(後援) 三重県教育委員会